

令和6年度 農作物病虫害発生予察4月月報

令和6年(2024年)5月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県防府地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
4.1	15.5	11.9	3.6	19.8	17.2	2.6	11.2	6.6	4.6
4.2	14.8	12.8	2.0	19.8	18.2	1.6	10.5	7.5	3.0
4.3	16.9	13.7	3.2	21.9	19.1	2.8	12.2	8.4	3.8
4.4	17.6	14.5	3.1	24.1	19.8	4.3	11.9	9.2	2.7
4.5	17.2	15.3	1.9	21.1	20.6	0.5	13.8	10.0	3.8
4.6	18.5	16.1	2.4	21.6	21.5	0.1	15.3	10.8	4.5
平均・計	16.8	14.1	2.7	21.4	19.4	2.0	12.5	8.8	3.7
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
4.1	92.5	21.1	71.4	19.0	30.2	△11.2			
4.2	26.0	21.9	4.1	23.9	30.7	△6.8			
4.3	9.5	22.9	△13.4	35.8	31.4	4.4			
4.4	13.0	25.0	△12.0	34.5	31.9	2.6			
4.5	31.0	26.4	4.6	16.7	32.6	△15.9			
4.6	37.0	26.6	10.4	9.5	33.4	△23.9			
平均・計	209.0	143.9	65.1	139.4	190.2	△50.8			

II 作物の生育状況

- (1) コムギ : 出穂期及び開花期は、平年より早かった。穂数は、平年に比べ少ない。降水量が多いため、湿害が発生しているほ場が散見される。
- (2) ナシ : 開花始めは概ね平年並みであった。一部で交配期の降雨の影響があったものの、着果量は概ね確保される見込み。
- (3) イチゴ : 日照時間が短い影響で生育は鈍化している。現在、4～5番果が収穫されており、5月末まで出荷が続く見込み。
- (4) タマネギ : 生育は平年に比べかなり早く、草丈、生葉数とも平年を上回っている。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 普通作物

2024年4月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ イネミズゾウムシ	4月1日～4月23日の予察灯(県内3か所)の誘殺数は0頭(平年0.1頭)で平年並みであった。	—	—
コムギ (調査ほ場数) 赤かび病 15 さび病類 17	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
うどんこ病 (調査ほ場数17)	中旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年0.2%)、発病葉率0%(平年0.4%)、発病面積率0%(平年0.0%)で平年並みであった。	—	—
黄斑病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.2%(平年17.6%)、発病茎率8.9%(平年8.6%)、発病度2.2(平年2.5)で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率58.8%(平年23.5%)、発病茎率27.3%(平年16.7%)、発病度7.3(平年4.8)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 96 少 868 計 964
縞萎縮病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.2%(平年0%)、発病茎率17.9%(平年0%)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率52.9%(平年0%)、発病茎率27.3%(平年0%)、発病面積率38.2%(平年0%)で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 579 多 289 計 868

2 果樹

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ (調査ほ場数:15) 黒斑病 (二十世紀:9)	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7%(平年2.0%)、発病葉率0%(平年0.0%)、果そう基部発病率0.1%(平年0.1%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 11
赤星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年1.4%)、発病葉率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	—	—
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年8.1%)、寄生葉率0%(平年0.2%)で平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平年6.1%)、寄生新梢率0%(平年0.1%)で平年並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ナシ チュウゴクナシキ ジラミ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.7% (平年1.3%)、寄生葉率0.1% (平年0.0%) で平年に比べ多かった。	県内全域	少 11
ナシヒメシンクイ	フェロモントラップ(萩市小川、4月1日～4月25日合計)における誘殺数は67頭 (平年106.6頭) で平年並みであった。	—	—
キウイフルーツ (調査ほ場数：3) かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年14.8%)、発病葉率0% (平年0.8%) であった。	—	—

3 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ (調査ほ場数：20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年21.2%)、発病株率5.3% (平年4.9%)、発病葉率3.1% (平年4.2%)、発病果率1.0% (平年1.5%) で平年並みであった。	県内全域	少 15
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年23.0%)、発病株率0.5% (平年2.0%)、発病果率0.1% (平年0.5%) で平年並みであった。	県内全域	少 20
菌核病	下旬の巡回調査では、発生は認められず、平年並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年19.0%)、寄生株率15.8% (平年4.0%) で平年に比べ多かった。主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多 10 少 40 計 50
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年46.8%)、寄生株率20.2% (平年23.2%) で平年並みであった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	甚 15 中 10 少 5 計 30
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年31.5%)、寄生株率1.0% (平年9.3%) で平年に比べやや少なかった。主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	少 20
アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率95.0% (平年52.7%)、寄生花率18.9% (平年12.1%) で平年に比べやや多かった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚 30 多 20 中 25 少 20 計 95

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)	
タマネギ (調査ほ場数：中旬 28、下旬27)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率21.4% (平成18.0%)、発病株率2.2%(平成 4.4%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率29.6% (平成33.6%)、発病株率10.7%(平成 10.8%)で平成並みであった。	県内全域	甚 多 少 計	12 6 30 48
白色疫病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率7.1% (平成4.1%)、発病株率0.8%(平成 0.3%)で平成に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.4% (平成0.8%)、発病株率0.4%(平成 0.2%)で平成に比べ多かった。	県内全域	少	12
腐敗病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率14.3% (平成12.4%)、発病株率1.1%(平成 0.6%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率11.1% (平成9.5%)、発病株率0.4%(平成 0.6%)で、平成に比べやや多かった。	県内全域	少	24
ボトリチス属菌に よる葉枯れ症(白 斑葉枯病)	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.4%)、発病株率0%(平成0.0%)で平 年並みであった。	—	—	—
さび病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.7%)、発病株率0%(平成0.1%)で平 年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.5%)、発病株率0%(平成0.1%)で平 年並みであった。	—	—	—
軟腐病 萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平成並みであった。	—	—	—
ネギアザミウマ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率10.7% (平成10.5%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率29.6% (平成20.6%)で平成に比べやや多かっ た。	県内全域	少	48

お問い合わせ先
山口県病害虫防除所
TEL (0835)28-1211
E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp